



芳野小だより

《かしこい子 やさしい子 たくましい子》

川越市立芳野小学校
学校だより 第8号
令和7年11月4日
川越市鴨田331
電話 049-222-1264
fax 049-229-1219

「心がつうじあえることば」を…

ひとつのうた

おのえ たかこ

ひぐらしは ひとつのうたしかしない
さあ 1日が始まるよ かなかなかな……
にわか雨がふるのかな かなかなかな……
雨があがったみたいだよ かなかなかな……
今日はおしまい / おほしさまが見えるかな かなかなかな……

うれしいときも / かなしいときも
ひとつのことばで つうじあえる

わたしたち / たくさんのことばを知っているのに
心をつうじあえることばを / みつけられないの なぜ？

先日、校内でちょっとしたトラブルがありました。よく話を聞くと、お互いに「心をつうじあえることば」をみつけることや使うことができずに、手が出てしまったようです。少し話し合ううちに、言葉が足りなかつたことを理解し合うことができました。

言葉には、「言霊（ことだま）」が宿るといいます。金子みすゞさんの「こだまでしようか」の詩の一節『「馬鹿」っていうと 「馬鹿」っていう』のとおり、悪い言葉には悪い言葉を返したくなるものです。忙しいときやイライラしているときに発する言葉は、どんな言葉でしょうか。それを聞いて思わず返してしまう言葉は、どんな言葉でしょうか。

私たちは「たくさんのことば」を知っています。だからこそ、「心がつうじあえることば」を正しく選んで、使うように心がけていきたいものです。

さて、11月の生活目標は「友達のよいところを見つけ、仲良く生活しよう」です。

友達のよいところを見つけたら、ぜひ、言葉にして伝えましょう。仲良く生活するために、「心がつうじあえることば」をたくさん使い合うようにしていきましょう。

「心がつうじあえることば」について、クラスやご家庭で話し合ってみるのもいいですね。温かな心が、温かな言葉がたくさんの方野小になることを願っています。

(校長 生駒 義郎)